

# 令和元年度 放課後活動指導者研修 実施報告①

実施日：令和元年5月22日（水）

◎当研修は、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進している、主に放課後子ども教室や放課後児童クラブ関係者の資質向上を図るための研修です。

第1回は、87名の方が御参加くださいました。

## ○ 講話「放課後活動指導者に求められるもの」 文教大学 准教授 青山 鉄兵 氏



青山先生は、社会教育学や青少年教育論など、学校以外の場所での教育活動及び、人々の生涯にわたる学習活動への支援のあり方について研究されています。

今回の研修では、地域における体験活動の現状と課題をふまえ、放課後活動における体験活動の推進に向けてお話いただきました。子どもの貧困と教育格差が問題となっている今日、放課後こそ子どもたちの体験に差が付きやすいため、社会全体で良い環境を作る必要があること、放課後活動で体験の機会を提供する場合は、活動の結果ではなくプロセスに注目することが大切であることなどを、体験談を交えてわかりやすくお話いただきました。また、「子どもの興味にもとづくこと」「支援者自身が楽しめること」など指導者側の支援のポイントについても御示唆をいただきました。

### ★ 受講者の声 ★

- ・放課後子ども教室に関わる中で、その意義・課題・自分の立場等々について悩みながらやってきたことに対して肯定感が得られました。
- ・子どもの体験格差の是正に向け、体験活動支援や学習支援など放課後活動指導者に求められるものが大きくなっていると感じました。
- ・学校、家庭との連携は必要だが、学校や家庭で出せない一面を見せられる場所でもあるので、学校の延長にならないように心がけたいと思いました。
- ・体験活動で「何をするか」は二の次で、「その時間で何がおこるか」が大切ということが印象的でした。結果までの過程を経験させることの大切さを知ることができました。
- ・放課後児童クラブ活動に関しても「時間と空間」が少ないと感じています。その限られた環境の中で様々な体験をさせることは難しいと感じました。
- ・どんなことでも子どもたちにとっては貴重な経験になるので、大人も子どももいろいろな体験をとおして、たくさんふれあうことができたらと思います。
- ・放課後活動ではある程度の自由さやゆるさも必要であるということや、教育的になりすぎないという言葉が印象的でした。
- ・ただ居場所を提供するだけでなく、「心の居場所」となるよう少しでもお手伝いしていきたいと思っています。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail: [skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp](mailto:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp)